記者発表資料

平成２４年３月３０日
東 北 地 方 整 備 局

入札監視委員会第二部会第４回定例会議（　３月　２日）の審議概要について

～抽出案件６件を審議、意見の具申・勧告はなし～

平成２３年度東北地方整備局入札監視委員会第二部会第４回定例会議が、３月２日（金）、東北地方整備局で開催されました。

定例報告では、①工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等・物品の製造等の発注案件、②指名停止措置の運用状況、について報告を行いました。

議事では、委員により抽出された案件６件の審議が行われ、委員からの意見の具申・勧告事項はありませんでした。

○審議概要は別紙のとおりです。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

問 い 合 わ せ 先	
国土交通省　東北地方整備局 仙台市青葉区花京院一丁目１番２０号	TEL (022)716-0013（ダイヤルイン）
契 約 管 理 官	佐藤（さとう）　豊（ゆたか）（内線６２２１）
経理調達課課長補佐	本間（ほんま）　和彦（かずひこ）（内線６５５４）

東北地方整備局　入札監視委員会（第二部会）審議概要

開催日及び場所		平成２４年　３月　２日（金）　東北地方整備局会議室	
委員		部会長　真野　明　（東北大学大学院工学研究科教授） 部会長代理　貝山　道博　（山形大学人文学部教授） 委　員　齊藤　幸治　（弁護士）	
審議対象期間		平成２３年１０月　１日～平成２３年１２月３１日	
総抽出案件		総件数　６件	
工事	抽出案件	件数　３件	
	一般競争（WTO対象）	１件	
	一般競争（WTO対象外）	２件	
	工事希望型競争	０件	
	通常指名競争（港湾土木）	０件	
	通常指名競争（空港等土木）	０件	
	通常指名競争（港湾・空等等土木以外）	０件	
	随意契約	０件	
建設コンサルタント業務等		２件	
役務の提供等及び物品の製造等		１件	

委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり

委員会による意見の具申又は勧告の内容	本日の審議結果について、意見の具申又は勧告事項はありません。

抽　出　案　件　工　事　概　要　書

	工　事　名	入札・契約方式	工事場所	上段：契約金額 （単位：千円） 下段：入札経緯	応募 業者数	参加 （指名） 業者数
1	小名浜港東港地区臨港道路３号ふ頭部上部外工事	一般競争 （ＷＴＯ対象）	いわき市小名浜港３号ふ頭内	749,175 １回目落札	16者	16者
2	久慈港湾口地区防波堤（北堤）（災害復旧）消波工事	一般競争 （ＷＴＯ対象外）	久慈市長内町第４０地割地内	294,000 １回目落札	5者	5者
3	八戸港河原木地区航路・泊地（－１４ｍ）浚渫工事	一般競争 （ＷＴＯ対象外）	八戸市八戸港港内	395,745 １回目落札	8者	8者

抽出案件建設コンサルタント等概要書

	業　務　名	入札・契約方式	履行場所	上段：契約金額 （単位：千円） 下段：入札経緯	応募 業者数	参加 （指名） 業者数
4	大船渡港野々田地区岸壁（－１３ｍ）外（災害復旧）細部設計	簡易公募型競争	－	23,677 １回目落札	5者	5者
5	釜石港湾事務所外庁舎復旧実施設計	簡易公募型プロポーザル	－	39,375 －	3者	3者

抽　出　案　件　役　務　及　び　物　品　概　要　書

	業　務　名	入札・契約方式	履行場所	上段：契約金額 （単位：千円） 下段：入札経緯	応募 業者数	参加 （指名） 業者数
6	青森港ジブクレーン修理工事	一般競争	青森市本町３－６－３４	11,760 １回目落札	1者	1者

別　紙

NO. 1

	意見・質問	回　　答
1-1	定例報告 「対象期間における発注案件について」 ・特になし	
1-2	定例報告 「指名停止措置の運用状況」 ・特になし	
2-1	審　　議 一般競争 「小名浜港東港地区臨港道路３号ふ頭部上部外工事」 ・１６者と多くの者が入札に参加しているが、工事金額が大きくなると競争が激しくなるという傾向にあるのか。 ・加算点が最も高い者と次点の者は、主にどのような違いがあったのか。 ・ＷＴＯ対象工事であるが、外国企業が参加してこないのは、同種工事の施工実績を求めるなど参加資格要件が厳しいことが原因ではないのか。	・金額が大きいことも理由の一つと思うが、全国的に港湾空港関係の橋梁工事が少なくなっていることから、多くの者が参加してきたものと考えている。 ・加算点は、２つの技術提案項目と配置予定技術者の能力、施工体制を総合的に評価している。今回の「ＰＣ箱桁橋コンクリートの各施工区間における養生方法」をテーマとした技術提案において、加算点が最も高い者は品質向上により効果的と評価された提案がなされたことから、高い加算点となった。 ・一般競争入札については、不良不適格業者の排除、品質確保の観点から同種工事の施工実績を求めることとしている。海外での施工実績も同種工事として認めていることから、海外企業にとっても厳しい資格要件とは考えていない。一般的には、国内に拠点がない外国企業は、下請業者の手配等が困難なことが参加してこない理由ではないかと考えている。
2-2	一般競争 「久慈港湾口地区防波堤（北堤)(災害復旧）消波工事」 ・予定価格超過者が多数となっているが、どのような理由が考えられるか。 ・災害復旧・復興が本格化し、資材や労務単価が上昇している影響はないのか。	・通常、大型ブロックの製作は冬期養生を避けて行っているが、本案件は災害復旧で急ぐため、冬期の発注となった。入札時に提出された工事費内訳書を確認したところ、コンクリートの冬期養生に関する費用が、当局積算の３倍から４倍となっており、地元企業にとっては事例が少ない工事であったことが、応札率が高くなった原因と考えている。また、災害復旧工事の発注増加が予想されることから、予定価格ギリギリを狙って応札したことも一因と考えている。 ・ヒアリングによれば、今後は資材や労務単価の高騰が懸念されるが、入札時点では考慮していないと聞いている。
2-3	一般競争入札 「八戸港河原木地区航路・泊地（－１４ｍ）浚渫工事」 ・落札した者の加算点が高いが、どのような点を高く評価しているのか。	・施工計画、企業及び技術者の技術力・企業の信頼性・施工体制を総合的に評価している。落札者は、最低価格の者と加算点次点の者に比べて、「浚渫作業時において付近を航行する船舶に関して配慮すべき事項」をテーマとした施工計画において、付近を航行する船舶の安全により配慮した提案がなされたことから、高い加算点となったものである。

別　　紙

	意見・質問	回　　答
2-4	審　　議 簡易公募型競争入札 「大船渡港野々田地区岸壁（－１３ｍ）外（災害復旧）細部設計」	
	・複数の者が予定価格を大幅に超過しているが、理由は何か。	・予定価格を超過した者にヒアリングしたところ、１者は、特記仕様書に明記した設計手法と異なる方法で入札金額を算定したため、他の１者は計算する部材数を当局積算より多く見積もったため、予定価格を超過したものと聞いている。
	・入札無効となった者がいるが、どのような理由からか。	・当該者は、低入札調査基準価格未満での応札となったものであり、入札条件として、予決令に基づく低入札価格調査終了までに第三者照査技術者の配置が義務付けられているが、期日までに技術者配置不能の申出があったため、入札条件に違反したものとして無効となったものである。
	・入札無効となった者は低入札調査基準価格よりどの程度低かったのか。	・十数万円程度わずかに下回る結果となっている。
2-5	審　　議 簡易公募型プロポーザル方式 「湾口防波堤機能改善効果検討業務」	
	・参加資格要件中の業務の実績において、同種業務と類似業務を求めているが、どちらも同じ二つの要素を「及び」で結ぶか「又は」で結ぶかの違いであることから、類似業務のみでよいのではないか。	・技術提案書の提出者の選定及び技術提案書を特定するための評価において、同種業務と類似業務では配点に差をつけていることから、両方を設定している。
2-6	審　　議 一般競争 「青森港ジブクレーン修理工事」	
	・参加可能者は多数いるが、１社しか参加者がいないのはなぜか。競争性は確保されているのか。	・ジブクレーン修理工事については、発注等級の拡大や事務所ホームページや掲示板で公告等の対応を行っているが、結果として１社入札となっている。特殊な機械であり、近傍には受注可能な企業は少ないのではないかと考えている。
	・落札者は地元業者か。	・八戸市に本社のある業者である。
	・毎年度同様の修理を行っているのか。	・継続的に必要な部品の交換など修理を実施している。今年度は、過荷重安全装置の更新時期にあたったため、新替を行った。
	・参加資格に同種業務の施工実績を求めていないのはなぜか。	・入札公告等の資料作成の段階で、同種業務の施工実績を求める記載がもれたものである。落札者は、当事務所で決定していた同種業務の施工実績を有する者であったが、以後このような事がないよう複数の職員での確認を徹底することとしている。